

「学びの变革」推進協議会（各市町）における令和3年度の取組について

平成30～令和2年度の実践

「学びの变革」推進担当教員を中心に校内研修を充実

H30～R1
全ての教員が、まずは、「課題発見・解決学習」を1単元以上実践・改善しましょう！
100%実施

R2
【日頃の授業を見直す視点（例）】で日頃の授業の質の改善に取り組もう！
※令和2年度広島県教育資料P59参照
100%実施

日頃の授業の質の向上

参加交流

「学びの变革」推進協議会の取組

◆ 全ての学校の「学びの变革」推進担当教員が参加し、研修・協議・実践交流を実施

- ・ カリキュラム・マネジメントについて
- ・ 「課題発見・解決学習」等の実践
- ・ 個別最適な学びについて 等

【市町教育委員会の取組の紹介】

- 総合的な学習の時間の改善
- 資質・能力に関する評価の在り方
- 家庭学習の充実
- 授業振り返りシートの活用
- 目標に迫る発問の工夫
- カリキュラムマップの活用 等

訪問指導

推進協議会への訪問指導

- ・ カリキュラム・マネジメントに関する研修
- ・ 個別最適な学びに関する講話
- ・ 授業研究に対する指導助言
- ・ 指定校・指定地域事業の推進、その成果普及のためのHP整備 等

「学びの变革」（第Ⅲ期）推進協議会の取組のポイント

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- カリキュラム・マネジメントの推進

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策
- ・ 新学習指導要領の趣旨の実現
- ・ GIGAスクール構想の実現等の状況を踏まえながら推進

これまでの取組の【成果と課題】

①各学校のカリキュラム・マネジメントに自律的・組織的に取り組む体制が整いつつある。

◆カリキュラム・マネジメントに係る取組状況「より取り組んでいる」割合（%）

		小学校		中学校	
		広島県	全国	広島県	全国
学校教育目標に基づいた全体計画	広島県	52.2	17.6	40.2	11.1
	全国	34.6		29.1	
教科等の横断的な配列	広島県	58.2	21.1	46.0	14.8
	全国	37.1		31.2	
PDCAサイクルの確立	広島県	42.2	4.9	28.9	-5.0
	全国	37.3		33.9	
人的・物的資源等の効果的な活用	広島県	57.2	10.3	37.7	8.3
	全国	46.9		29.4	

「1よくしている」の割合が全国よりも高い
令和元年度 全国学力・学習状況調査による

②授業改善により、児童生徒の学習の仕方が改善されつつある。

◆「主体的・対話的で深い学び」について肯定的回答をした児童生徒の割合（%）

質問		令和元年度		
		①広島県	②全国	①-②
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	小学校	79.1	77.7	1.4
	中学校	78.0	74.8	3.2
自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	小学校	65.4	62.5	2.9
	中学校	59.7	55.8	3.9
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	小学校	77.2	74.1	3.1
	中学校	77.4	72.8	4.6

肯定的回答の割合が全国よりも高い
令和元年度 全国学力・学習状況調査による

③全ての教員が、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善等を進める必要がある。

◆各教科において、課題を発見し、解決する過程を通した「主体的な学び」を全教員が実践している。（%）

	小学校	中学校
ほとんどの教員が当てはまる（8割以上）	55.2	51.9
多くの教員が当てはまる（5割以上8割未満）	39.9	36.5
一部の教員が当てはまる（2割以上5割未満）	4.7	10.8
ほとんどの教員が当てはまらない（2割未満）	0.2	0.8

令和元年度「基礎・基本」定着状況調査による

令和3年度

「学びの变革」推進担当教員を中心に校内研修を充実

【校内研修において扱う内容】

- (1) 「本質的な問い」による授業改善（下図参照）
- (2) カリキュラム・マネジメントの充実

「本質的な問い」を授業改善に生かすため、全ての学校が、「単元構想シート」を活用した研究授業を実施（1回）

※「学びの变革」推進協議会の最後の回に、この研究授業の単元構想シートと学習指導案を持ち寄り（1単元）、実践交流します。



参加交流

②理論研修
「本質的な問い」による授業改善について

校内研修で、単元構想シートによる演習を実施し、「本質的な問い」の考え方を共有

④研究授業
やってみよう「本質的な問い」で授業改善

校内研修で、単元構想シートを活用して、研究授業を実施（1回以上）

次年度の各学校の授業改善の取組へ

【第1回】

①理論研修
「本質的な問い」による授業改善について

県教育委員会の指導主事が、講話と単元構想シートによる演習を実施
> 単元構想シートを提供

【第2回】

③研究授業
やってみよう「本質的な問い」で授業改善

会場校において、（単元構想シートを活用して構想した）研究授業を実施

【第3回】

⑤実践交流
交流しよう「本質的な問い」による改善事例

各学校が実施した研究授業の、単元構想シートと学習指導案を持参し交流（1単元）

「学びの变革」推進協議会において研修・研究授業・実践交流（全ての小・中学校等の「学びの变革」推進担当教員が参加：年3回）

- (1) 「本質的な問い」による授業改善に向けた取組を推進（上図参照）
 - (2) カリキュラム・マネジメントの充実に向けた講話・演習 等
- ※ これらに、各市町で必要な内容を加えてください。

訪問指導

推進協議会への訪問指導を中心に

- ・ 「本質的な問い」を授業改善に生かす「単元構想シート」に係る講話・演習
※単元構想シート…「本質的な問い」を立て、単元を構想するための演習シートです。
- ・ カリキュラム・マネジメントの充実や「個別最適な学び」の実現に向けた講話・演習
- ・ 研究授業に対する指導助言
- ・ 指定校等の研究成果の普及、特徴的な事例の収集・普及、アンケート等による状況把握 等



令和三～五年度に実現を目指す学校及び教員の姿

「質の高い「問い」を設定する力」○単元を構想する力○児童生徒の学びをファシリテートする力○デジタル機器を活用する力

「学びの变革」により目指す姿

全ての学校が、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、カリキュラム・マネジメントに自律的に取り組む姿、児童生徒の資質・能力が着実に育成されています。